

多摩市食品ロス実態調査報告書

令和3年3月12日（金）実施

多摩市環境部ごみ対策課

実施概要

■実施日時	2021年3月12日(金)
■作業場所	多摩ニュータウン環境組合 多摩清掃工場(多摩市唐木田2-1-1)
■作業時間	8:30~14:30(昼食休憩1時間、準備片付け含む)
■作業体制	多摩市職員4名 委託事業者14名
■調査試料	<ul style="list-style-type: none">・3地域、①A地域(マンション)、②B地域(集合住宅)、③C地域(戸建て住宅)を調査対象とする。・3地域合計で約377.94kgの試料から食品廃棄物(約127.24kg)を抽出、細組成調査を行う。・サンプルは大型乗用車で収集、収集したごみは全量を調査試料とした。

(1) 調査実施計画

1) 処理計画・目標等

「多摩市一般廃棄物処理基本計画」(※平成25年3月策定、平成30年3月に改定)に基づき、「協働の力で環境負荷の少ない循環型のまち多摩を構築する」という基本理念のもと、発生抑制、排出抑制、資源化、適正処分を実現するため、市民・事業者・市が協働し、ごみ減量・リサイクルによる資源循環都市づくりを進めています。平成25年度から令和4年度までにごみの排出量(燃やせるごみ・燃やせないごみ・粗大ごみ・有害性ごみ)10%削減(毎年1%削減)という目標を掲げ、平成28年度までに8.7%の減量を達成しました。平成30年の計画の中間見直しにより、これまでの各取組みの成果を踏まえながら、社会経済情勢やごみや資源を取り巻く状況の変化等に対応し、これからも積極的な取組みを展開していくこととしています。

食品廃棄物に関連する施策としては、「堆肥化など、生ごみの自家処理・共同処理の取組み。広報誌、公式ホームページ、ごみ減量啓発情報誌等による、生ごみを出さない調理法、食生活、買い物等についての啓発。関係部署との連携」としています。

2) 対象とする一般廃棄物

多摩市の家庭ごみの分別方法等について図表1に示す。食品ロスに関する調査は「もえるごみ」を対象に調査を実施した。

図表1 家庭ごみの出し方の概要（多摩市）

項目	内容
家庭ごみの分別	<ul style="list-style-type: none"> 燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源物（新聞、古布、小型家電、金属類）、資源物（プラスチック）、資源物（ダンボール）、資源物（びん、缶、ペットボトル、雑誌・雑紙）、有害性ごみ、粗大ごみ
うち、「燃やせるごみ」の内容	<ul style="list-style-type: none"> 週2回の収集 生ごみ、ぬいぐるみ、油や食品等で汚れたプラスチック類、金銀がついた紙、ラップ等の固い芯、昇華転写紙、使い捨てカイロ、乾燥剤、座布団、枕、紙コップ・ヨーグルトやカップ麺等の紙容器（防水加工）、シュレッダー紙、ペットの排泄物・犬猫シート・ペット砂、靴、カバン、金属がついているプラスチック、ビデオテープ、カセットテープ、
ごみ袋の有料化	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみの指定袋あり 大（4L10枚）：600円、中（20L10枚）：300円、小（10L10枚）：150円、ミニ（5L10枚）：70円
その他	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア袋、おむつ袋については指定袋の無料配布を行っている

3) 調査対象地域・採取方法等の検討

調査対象地域は地域の特性を踏まえて①A地域（マンション）、②B地域（集合住宅）、③C地域（戸建て住宅）の3地域とした。

各地域の特徴としては、「①A地域（マンション）」はマンション等の集合住宅が多く、比較的若いファミリー世帯が多い地域、「②B地域（集合住宅）」は、古くからある昔ながらの成熟した地域であり比較的高齢者が多い地域、「③C地域（戸建て住宅）」は戸建て住宅が多い地域である。

ごみ集積所に排出された「家庭ごみ」を、令和3年3月12日（金）に収集し、調査場所である多摩ニュータウン環境組合多摩清掃工場に搬入した。

(2) 調査結果の概要

1) 試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について（図表2）、3地域の合計で168袋、378kg、1袋あたりの平均重量は2.2kgであった。地域別に見ると、①A地域（マンション）が62袋、157kg、②B地域（集合住宅）が38袋、93kg、③C地域（戸建て住宅）が68袋、128kgであった。

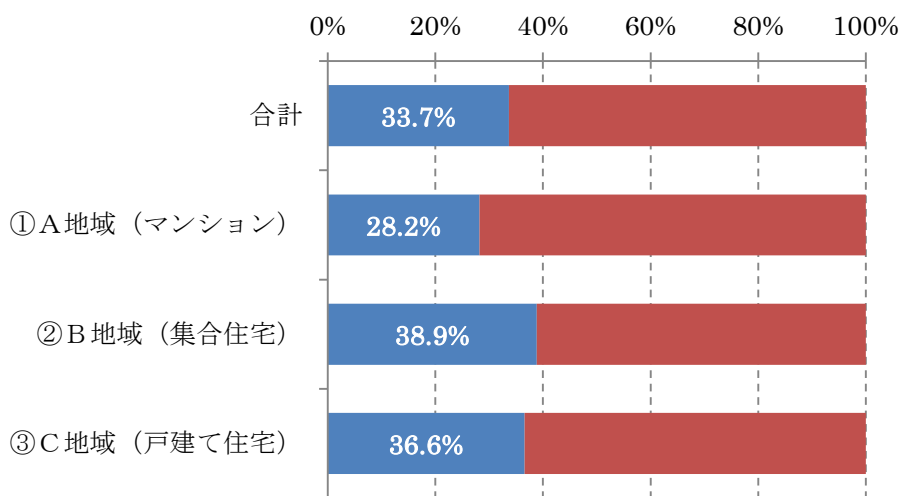
図表 2 調査対象とした試料概要（多摩市）

	袋数(個)	重量(kg)	容量(L)	袋あたり	
				重量(kg)	容量(L)
合計	168	378	3,595	2.2	21.4
①A地域（マンション）	62	157	1,615	2.5	26.0
②B地域（集合住宅）	38	93	935	2.4	24.6
③C地域（戸建て住宅）	68	128	1,045	1.9	15.4

※合計は、3地区の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表3）、3地域の合計では33.7%、地域別に見ると②B地域（集合住宅）が最も高く38.9%、③C地域（戸建て住宅）が36.6%、①A地域（マンション）が28.2%となっている。

図表 3 試料中の食品廃棄物の割合（多摩市）



(単位:kg)

	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物等 B	食品廃棄物割合 C(=B/A)	食品廃棄物以外 D(=1-C)
合計	377.94	127.24	33.7%	66.3%
①A地域(マンション)	156.54	44.16	28.2%	71.8%
②B地域(集合住宅)	93.02	36.14	38.9%	61.1%
③C地域(戸建て住宅)	128.38	46.94	36.6%	63.4%

※合計は、3地区の調査結果を足して算出したもの

2) 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合

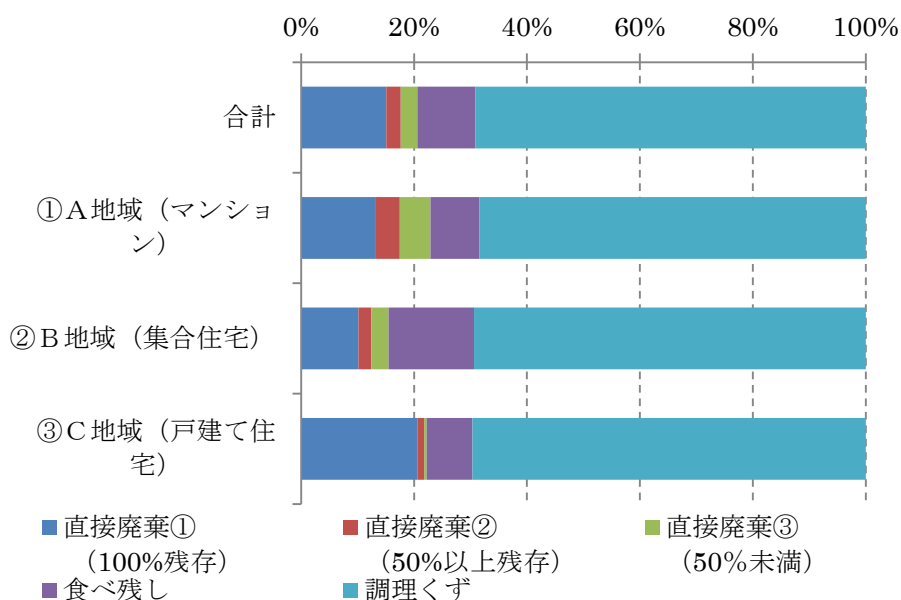
食品廃棄物のうち、調理くずを除く、直接廃棄及び食べ残しを食品ロスとする。

食品廃棄物のうち食品ロスの重量割合について（図表4）、3地域の合計では28.5%、地域別に見ると①A地域（マンション）が最も高く29.3%、③C地域（戸建て住宅）が28.1%、②B地区（集合住宅）が28.0%となっている。地域ごとに食品ロスの割合は異なり、①A地域（マンション）の食品ロスの割合は、②B地区（集合住宅）よりも1.3ポイント多い。

直接廃棄に着目すると、3地区の合計では、まったく手付かずの直接廃棄（100%残存）は、食品廃棄物のうち13.9%を占めており、③C地区（戸建て住宅）で19.1%と高く、次いで①A地区（マンション）が12.1%、②B地区（集合住宅）が9.3%となっている。

同様に、食べ残しに着目すると、3地区の合計では9.5%、②B地区（集合住宅）が13.8%と高く、①A地区（マンション）が8.1%、③C地区（戸建て住宅）が7.5%となっている。

図表4 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合（多摩市）



	食品ロス割合	うち直接廃棄			うち食べ残し
		100%手付かず	50%以上残存	50%未満残存	
合計	28.5%	13.9%	2.4%	2.7%	9.5%
①A地域(マンション)	29.3%	12.1%	4.1%	5.0%	8.1%
②B地域(集合住宅)	28.0%	9.3%	2.0%	2.8%	13.8%
③C地域(戸建て住宅)	28.1%	19.1%	1.0%	0.5%	7.5%

※合計は、3地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベース。

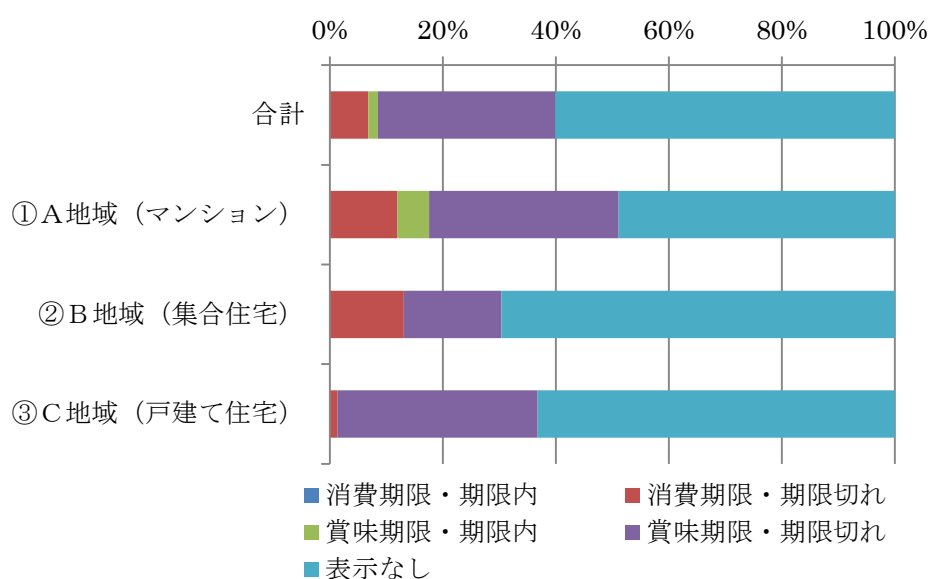
3) 直接廃棄されたものの消費・賞味期限について

直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表5）、3地域の合計では「表示なし」が最も多く60.1%であり、消費期限の表示があったものは6.8%（いずれも期限切れ）、賞味期限の表示があったものは33.1%（期限内が1.7%、期限切れが31.4%）となっている。

消費期限に着目すると、「消費期限・期限内」のものが直接廃棄（100%手付かず）は該当がなかった。

賞味期限に着目すると、「賞味期限・期限内」のものが直接廃棄（100%手付かず）のうち1.7%、地域別に見ると①A地域（マンション）のみ5.6%となっている。

図表 5 直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限について（多摩市）



	消費期限・期限内	消費期限・期限切れ	賞味期限・期限内	賞味期限・期限切れ	表示なし
合計	0.0%	6.8%	1.7%	31.4%	60.1%
①A地域(マンション)	0.0%	11.9%	5.6%	33.6%	48.9%
②B地域(集合住宅)	0.0%	13.1%	0.0%	17.3%	69.6%
③C地域(戸建て住宅)	0.0%	1.3%	0.0%	35.4%	63.3%

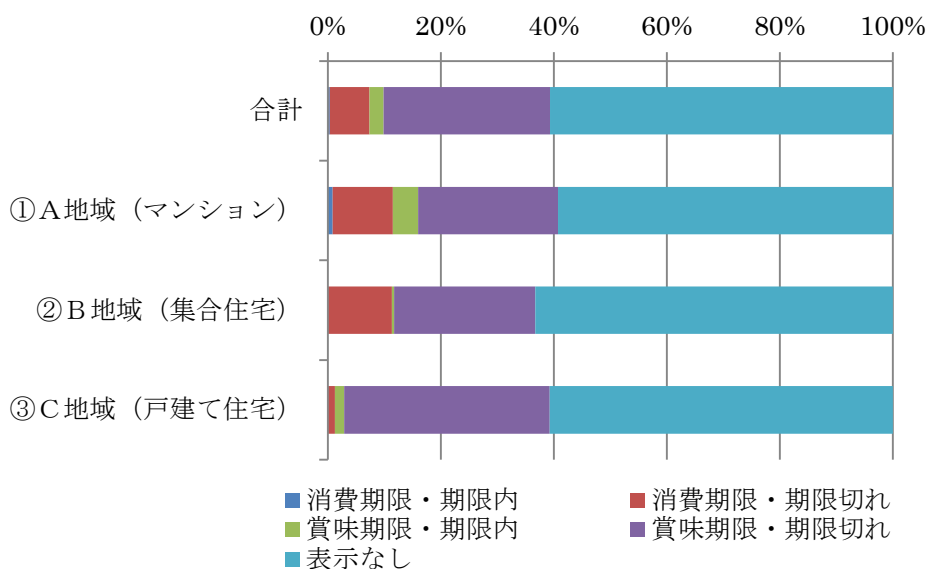
※合計は、3地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベース。

同様に、直接廃棄全体（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）での消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表 6）、3地域の合計では「表示なし」が最も多く60.7%であり、消費期限の表示があったものは7.3%（期限内0.3%、期限切れ7.0%）、賞味期限の表示があったものは31.9%（期限内2.5%、期限切れ29.4%）となっている。

消費期限に着目すると、「消費期限・期限内」のものが直接廃棄のうち0.3%で、地域は①A地区（マンション）のみ0.9%となっている。

賞味期限に着目すると、「賞味期限・期限内」のものが直接廃棄のうち2.5%、地域別に見ると①A地区（マンション）が最も高く4.5%となっている。

図表 6 直接廃棄（合計）の消費・賞味期限について（多摩市）



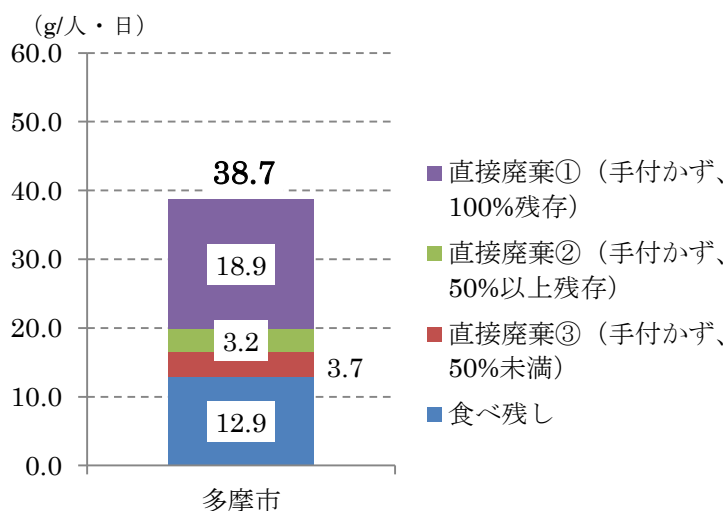
	消費期限・期限内	消費期限・期限切れ	賞味期限・期限内	賞味期限・期限切れ	表示なし
合計	0.3%	7.0%	2.5%	29.4%	60.7%
①A地域(マンション)	0.9%	10.7%	4.5%	24.7%	59.3%
②B地域(集合住宅)	0.0%	11.3%	0.4%	25.0%	63.3%
③C地域(戸建て住宅)	0.0%	1.2%	1.7%	36.4%	60.7%

※合計は、3地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベース。

4) 1人1日あたりの食品ロス発生量

調査結果を踏まえて、1人1日あたりの食品ロス発生量を推計すると 38.7g/人・日となり、その内訳を見ると直接廃棄（手付かず、100%）が 18.9g/人・日、直接廃棄（手付かず、50%以上残存）が 3.2g/人・日、直接廃棄（手付かず、50%未満）が 3.7g/人・日、食べ残しが 12.9g/人・日と推計された。

図表 7 1人1日あたりの食品ロス発生量（多摩市）



食べ残し	12.9
直接廃棄③ (手付かず、50%未満)	3.7
直接廃棄② (手付かず、50%以上残存)	3.2
直接廃棄① (手付かず、100%残存)	18.9
	38.7

(3) 調査実施時の写真



組成調査の様子（ごみ袋計量）



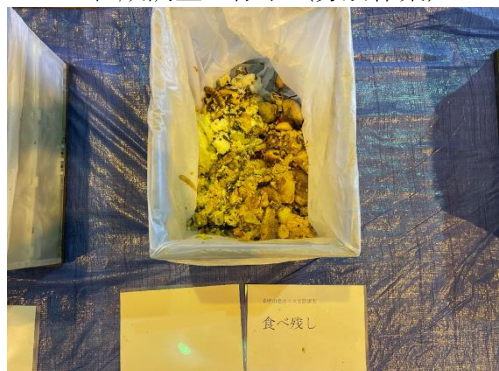
組成調査の様子（分別作業）



組成調査の様子（分別作業）



A 地区 調理くず（野菜・果物の皮、卵の殻など）



A 地区 食べ残し



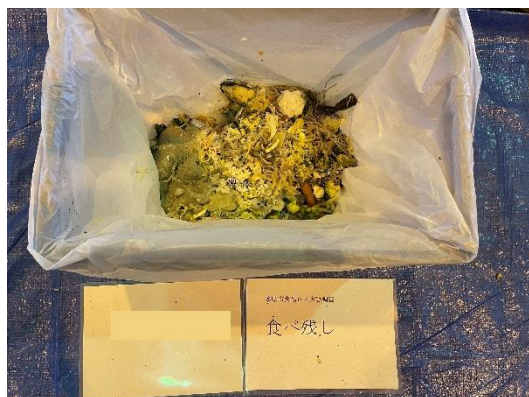
A 地区 直接廃棄（すべて）



A 地区 直接廃棄 100%残存 賞味期限切れ



A 地区 直接廃棄 50%残存 賞味期限切れ



B 地区 調理くず



B 地区 食べ残し



B 地区 直接廃棄 (すべて)



B 地区 直接廃棄 100%残存 賞味期限切れ



B 地区 直接廃棄 50%残存 賞味期限切れ



C 地区 調理くず



C 地区 食べ残し



C 地区 直接廃棄 (すべて)



C 地区 直接廃棄 100%残存 賞味期限切れ



C 地区 直接廃棄 50%残存 賞味期限切れ